

NETZ TOYAMA



Racing

Race Report 2019 / Vol.5

GR TOYOTA GAZOO Racing
Rally challenge

大会名称	TOYOTA GAZOO Racing Rally challenge Cup 高岡万葉
開催日程	2019.8.4
場 所	富山県高岡市二上山周辺
参加車両	# 123 NETZ TOYAMA Racing 86(旧型)
ドライバー	大野 泰幹 コ・ドライバー 山口 竜也
参加台数	16台 (C-3 Challenge) : TOYOTA 86
決勝順位	9位

NETZ TOYAMA Racing としては今年初めてのラリー参戦となった「TGR ラリーチャレンジ高岡万葉」。35℃近くの猛暑の中、昨年まで活躍した野村・瀬戸組に代わり、財務担当の取締役大野泰幹と今年 VITZ レースで初デビューを飾った砺波店エンジニアの山口竜也が新たにこの戦いに挑んだ。毎年恒例の地元開催ラリーということ、そして大野・山口組にとってはデビュー戦ということで、前日まで練習やすり合わせをする気合いの入った二人の姿があった。前日は、主催者側による公式車検および初心者向けの安全やマナーに関する講習が行われ当日を迎えた。今回のラリーは SS1～SS6 までのステージがあり、各 SS 毎のタイムを積算してトータル順位を競う。SS3 と SS6 は、TGRP 高岡会場でギャラリーも多くグラベルといって未舗装路でのアタックとなる。今回大野・山口組が参戦するクラスは C3 クラスといって、改造範囲が一番狭い 86 のみのクラスで全 16 台。高岡市御旅通りでセレモニアルスタートし、SS1→SS2 とマシンに損傷を与えることなく快調に突き進んだ。唯一練習が出来なかったグラベル(SS3)で苦戦するも、折り返し時点で 16 台中暫定 10 位を記録する。後半戦も前半と同じコースを順番にアタックしていく流れで、相変わらずグラベルに苦戦するもターマックコース(舗装路)では上位陣に負けないタイムを記録する。ラリーは、コ・ドライバーと呼ばれる助手席側の人間が曲がるタイミングや先のコース状況をドライバーへ伝える。一步掛け合いを間違えるとコースアウトやタイムロスに繋がるため二人の連携と信頼が重要になる。スタート直後はぎこちなかった二人も徐々にペースを掴み最終順位は 9 位と、初参戦としては良い結果となった。こうして夏の高岡万葉ラリーが幕を閉じた。



»NEXT

86/BRZ Race プロフェッショナルシリーズ Rd.7
in ツインリンクもてぎ

